



昭和四年  
五月十五日

仁  
科  
芳  
雄

法財  
人團  
理  
化  
學  
研  
究  
所  
東京市本郷區駒込上富士前町卅一番地  
電話大塚自三二二番一室三二六番  
七九

YHAL  
C39N08

No. 1

昭和五年 五月十五日

東京市本郷區駒込上富士前町卅一番地  
財団法人 理化學研究所

仁科芳雄

湯川君

拜啓

大河内先生昨秋御返書、今朝御出所迄チ  
旅費ノ件御頼ヒシマシタ所快諾セラレマシタ  
先生ノ御返テハ若シ一万円不足ナラハモット出  
シテモ差支ヘナイトノ事デス、然シ大藏省ノ  
方モアリマスカラ一万円ト云フコトニシタカ好イノテハ  
ナイカト思ヒマス、  
然ントモカリ折角行クノテスカラナルハ名多クノ人ニ  
會フテエケラノ意見ヲ徹底サセテ還ク必要カアリ  
マス、ソレテ最近外務ヲ廻ワテ為ッタ人ニ大伴トノ

No. 2

昭和  
年  
月  
日

位入用ナモノカ聞イテ見テ下サイ、モシ必要トアラ  
ハ大蔵省へモ左様頼ソテ見テハドウカト思ヒマ  
ス、小生ノ知人ニハ最近為ッタ人がナイノテヨク判  
リマセン。

コレカラ大蔵省ノ許可ヲ運動スル必要カアリマス、  
コレニハ學術研究會派カラ文部省ヲ経テ大蔵  
省ニ頼フコトヲ最初ニ進メ場合ニヨッテハ長岡  
先生ヲ頼ハシテ當局ニ頼ッテ世貞ノ必要カアルカモ  
知レマセン

高桑都大學ノ方デハ何ヶ月間出張ヲ許可シテ  
号レルノカソノ由ヲ尋ネテ見テ下サイ、大河内所長  
ノ御強テハ大學ノ方ニ頼ニテナルベク長ク長ク方  
か好イノテハナイカト云ハレマス

No. 3

昭和  
年  
月  
日

右  
要  
々  
点

毎

